

## 天気拾った、三木町への行進。参加者途中から次々ふえる！！

三木町への平和行進は、今年初めて協同病院出発にしました。早朝から構内に地域の医療生協の組合員さんが集まります。出発式は岩部乃之香川県原水協筆頭代表よりあいさつ。平和行進四国コースの概括と6月4日徳島県境での引継ぎを説明し、県内17ある自治体の4番目三木町への行進、事故なく行進を依頼しました。続いて北原孝夫協同病院院長が挨拶。命と健康は切りはなせないという医療生協の基本理念と原爆は共存できないと強調。その意味でG7広島での岸田首相の「核兵器は平和を守る」という後退に怒りを覚える。G7が世界を主導しているというが、気候変動・人口問題など人類的課題がさしせまった中、核兵器や軍拡などやっている場合かと迫り、草の根から原爆なくせの声を集めようと呼びかけました。

三木町のコンビニから5人行進団に加わった中には、タクシーで追いついた参加者もいました。昨年は1時間30分も遅れても、行進団を快く迎えて頂いた三木町3役でしたが、今年は概ね遅れることなく終結集会が始まりました。

主催あいさつは、協同病院北原院長が、いのちと健康を守るのは食料と水と強調し、核兵器は一番の無駄と切り捨て。これをしっかり無くしたいと声をあげているが、この道のりは大変でも共通の願いを実現していきたいと決意し、迎えて頂いた三木町長や3役・職員さんにお礼。

伊藤良春町長は暑さ厳しい中での行進に労いとお礼を述べ、今日は町民が美しい花しょうぶを頂いたと季節の話題できりだし、5月4日徳島県境からの行進に敬意を表したい、三木町でも近所の平井小学校の修学旅行は広島で、原爆資料館なども訪問するが、核兵器なくす課題を子々孫々まで伝えたいのでさらにこの声を広げてほしい。今、核使用の危機感がある時代、皆さんの運動を支援していきたいと力強い挨拶を頂きました。

富田修司三木町議会議長は、行進車が昨年よりカラフルになっていると切り出し、核兵器禁止は当たり前、力による平和はとんでもないと強調し、残りの愛媛県への行進、健康に気を付けてと気遣い挨拶としました。また飲料水の差し入れも頂きました。雨雲接近の予報が出る中、何とか雨にあわずに終了しました。



協同病院での出発式



三木町三役参加で終結集会